

令和7年8月25日

報道機関各社 御中

連絡先	
課係名	スポーツ課
電話番号	0598-53-4400

発表事項

MCC年間大賞2024「主催者部門優秀賞受賞」みえ松阪マラソン

MCC年間大賞

MCC年間大賞とは、大会主催者やボランティア団体などの挑戦と功績、努力を称えるために創設されました。

年度ごとの大会を対象に、走行記録だけではないランナーそれぞれの挑戦、ボランティアの功績や大会主催者の運営努力を称えるランニング業界で初めての表彰です。

対象は24年4月から25年3月までに開催されたMCC、HMCC、MCC100加盟106大会の主催者、サポーター、出場ランナーが対象です。

受賞内容

2024年度 MCC年間大賞 主催者部門 優秀賞

貴大会は、2024年度の開催大会において「日本一のエイド」という目標に向けて改善を重ね、トンネルイルミネーションなど独自の応援企画でもランナーの高い評価を勝ち取りました。その飽くなき挑戦を称え、MCC年間大賞主催者部門優秀賞を贈ります。

一般財団法人 アールビーズスポーツ財団

【参考】

全国ランニング大会100撰（2年連続）

日本国内で開催されているランニング大会の中から、実際にレースに出場したランナーによるRUNNET（日本最大級！走る仲間のランニングポータル）への投稿などをもとに100大会が選出されており、みえ松阪マラソンが2023大会・2024大会の2大会連続で選ばれています。

MCC年間大賞2024選考委員会

2024年度からスタートした第1回MCC年間大賞で、4月28日に開催され6人の選考委員が出席された。

選考基準

以下の項目をもとに、選考委員会で総合的に判断

【主催者部門】

独自性・先進性・地域性・ユニーク性・話題性・改善度・盛り上がり度

【サポーター部門】

独自性・地域性・話題性・大会貢献度・社会貢献度

【ランナー部門】

大会出場におけるチャレンジ性・独自性・ユニーク性・話題性

選考委員

川内優輝さん（プロランナー）

鍋倉賢治さん（筑波大学体育系教授）

野上麻理さん（Haleon ジャパン株式会社 代表取締役社長）

弓削田眞理子さん（60代女子で世界初サブスリー・教員）

吉田誠一さん（スポーツライター）

行場竹彦（月刊ランナース編集長）

審査の結果

「主催者部門」

大賞1

- ・オホーツク網走マラソン
（オール網走で3年連続大会レポ1位）

優秀賞2

- ・みえ松阪マラソン
（日本一のエイドを目指し改良を重ね、応援イベントも充実）
- ・東北・みやぎ復興マラソン
（東日本大震災の復興を象徴する東北最大規模のフルマラソン）

特別賞（ハーフ大会賞）2

- ・焼津みなとマラソン
（3人に1人カツオが当たる飛び賞が人気の港町ハーフ）
- ・舞鶴赤れんがハーフマラソン
（2024年「もっと舞鶴の魅力を発信」など3目標を掲げパワーアップ）

「サポーター（ボランティアなど）部門」

大賞1 優秀賞8、

「ランナー部門」

大賞1 優秀賞10

用語説明

MCC

「MCC（マラソンチャレンジカップ）」とは、一般財団法人アールビーズスポーツ財団が企画、運営する、マラソンに挑戦する人すべてを応援するプロジェクトです。第1期は2017年4月にはじまり、前期の第8期では全国62カ所で開催される人気のフルマラソン大会と連携しています。

MCCは、主催者とともに大会の魅力を広く伝え、走る楽しみをより深める取り組みを通じ、フルマラソンをより楽しく、より走り甲斐あるものにするためにランナーをバックアップしています。

HMCC

「HMCC（ハーフマラソンチャレンジカップ）」とは、MCCの“挑戦する人を応援する”というコンセプトはそのままに、全国ハーフマラソン大会と連携したプロジェクトです。第1期は2019年4月にはじまり、前期の第7期では、全国39カ所で開催される人気のハーフマラソン大会と連携しています。

MCC100

「MCC100（マラソンチャレンジカップ100）」とは、MCCの“挑戦する人を応援する”というコンセプトはそのままに、ウルトラマラソンに受け継がれます。2020年4月から第1期MCC100がスタート。ウルトラマラソンをより楽しく、走り甲斐あるものとし、フルマラソンとともにランニングの世界を発展させるプロジェクトです。